

# 亀戸中央公園マネジメントプラン

---

亀戸中央公園の管理運営、整備等の取組方針

平成27年3月

東京都建設局

## 目次

はじめに	19-3
I 亀戸中央公園の基礎的事項	19-4
1 都市計画等	
2 過去の取組の成果等	
3 社会状況等の変化	
II 亀戸中央公園の開園概要	19-6
1 開園区域の概要	
2 利用状況等	
III 亀戸中央公園の目標と取組方針	
1 むこう10年間を見据えた主な目標	19-7
2 取組方針	19-9
(1) ゾーン別基本方針（ゾーン別基本方針図共）	
(2) 維持管理の取組方針	
(3) 運営管理の取組方針	
(4) 安全・安心な公園への取組について	
(5) 改修・再整備の取組について	
(6) 新規整備の取組方針	
IV 図面・写真	19-18
現況平面図	
周辺土地利用図（空中写真）	
周辺土地利用図（地図）	
亀戸中央公園の現況写真	
<資料編>	19-22
資料1 パークマネジメントマスタープランと公園別マネジメントプランについて	
資料2 亀戸中央公園に関する資料	



## はじめに

---

「**亀戸中央公園**マネジメントプラン」は、平成27年3月に改定された「パークマネジメントマスタープラン」における新たな東京の公園づくりの理念や目標、本公園の基本理念や時代の要請、ならびに過去8年間の本公園における公園づくりの取組成果等を踏まえ、今後新たな10年間を見据えた公園づくりに必要な目標を設定し、当該目標を実現するための計画・整備・管理に係る基本的な取組方針を定めたものです。

また、本マネジメントプランは固定的なものではなく、目標や計画は継続的に見直し・改善を図るとともに、社会経済情勢の変化等への対応が必要となった場合には、柔軟に必要な事項等について再検討を行い、適宜見直し改善を行っていくものです。

# I 亀戸中央公園の基礎的事項

## 1 都市計画等

### (1) 都市計画の概要

- ・名称 東京都市計画公園第5・5・28号亀戸中央公園
- ・位置 江東区亀戸八・九丁目各地内
- ・面積 10.6ha
- ・種別 総合公園
- ・決定告示 (当初) 昭和48年3月3日 東京都告示第243号

### (2) 亀戸中央公園の基本的な性格・役割

亀戸中央公園は避難場所としての機能に重点が置かれて整備されたため、芝生の広場や人工池、流れが配置され、施設の密度は低く抑えられている。公園は、地域の公園緑地の配置状況から住区基幹公園としての性格も持っている。また、サザンカの名所として個性化を図っており、サザンカの咲く冬季には遠方からの来園者も多い。

なお、東京都地域防災計画及び江東区地域防災計画により防災上の重要な位置付けを持っている。

## 2 過去の取組の成果等

当初「亀戸中央公園マネジメントプラン(H18)」における重点目標に係る過去8年間の取組およびその成果等は、以下のとおりである。

### ○避難場所・拠点として災害時における公園の有効活用

防災トイレや入口表示灯など、防災施設の整備が行われ、防災拠点としての機能が向上した。

### ○楽しさあふれる公園づくりを進める、地域との協働による公園の活性化

山茶花ガイドツアー、豊かな自然環境を利用した「自然体験プログラム」「珍樹探検隊」、元プロ野球選手による親子キャッチボール教室などを実施した。また、ボランティアとの協働による新たな花壇作りなどにより、公園利用が活性化された。

### ○その他の目標

ホームレスの自立支援施策との連携、違法駐輪対策への取組などにより、公園の適正な利用が確保された。

### 3 社会状況等の変化

#### (1) 社会経済情勢

- ・ 2020 年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定
- ・ 平成 23 年 3 月の東日本大震災の発生
- ・ 生物多様性条約締結国会議の平成 22 年日本開催など、地球環境への意識の高まり
- ・ 少子高齢化の進行による利用形態の変化

#### (2) 関連する行政計画等

- ・ 東京都公園審議会答申（昭和 63 年 10 月）
- ・ パークマネジメントマスタープラン（平成 27 年 3 月）
- ・ 都市計画公園緑地の整備方針（改定）（平成 23 年 12 月）
- ・ 緑の新戦略ガイドライン（平成 18 年 1 月）
- ・ 東京都長期ビジョン（平成 26 年 12 月）
- ・ 京都地域防災計画（平成 26 年 7 月）
- ・ 江東区地域防災計画（平成 25 年）
- ・ 江東区「みどりと自然の基本計画」（平成 19 年 7 月）
- ・ 東京都福祉のまちづくり推進計画（平成 26 年 3 月）

## Ⅱ 亀戸中央公園の開園概要

### 1 開園区域の概要

#### (1) 開園の概要

名称 都立亀戸中央公園（かめいどちゅうおうこうえん）  
開園日 昭和 55 年 6 月 1 日  
開園面積 103,205.34 m<sup>2</sup>（平成 26 年 10 月 1 日現在）  
公園種別 総合公園  
所在地 江東区亀戸八・九丁目  
アクセス 東武亀戸線「亀戸水神」

#### (2) 主な公園施設

多目的球技広場、テニスコート、遊具、亀戸スポーツセンター

### 2 利用状況等

#### (1) 利用概況

周辺の公園緑地の配置状況から、当公園が総合公園としての役割のほかに住区基幹公園としての役割が期待されている面が強い。日常的には地域の利用者に利用されており、サザンカの開花時期等には誘致圏が拡大する。徒歩、自転車による来園がほとんどであるが、サザンカ観賞やスポーツ施設利用者は、車・電車でも来園している。

#### (2) 利用者動向（推計値）

25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
年間総数 (人)	114,755	117,071	94,742	98,535	130,948	96,997
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,219,619	109,951	112,408	82,681	92,698	45,856	122,977

#### (3) 主な活動団体（詳細は資料編参照）

1 団体・160 名が、広場の管理作業などを行っている。

#### (4) 主な催し物開催状況（平成 25 年度実績は資料編参照）

「どんぐりイベント（工作、マップ配布でのラリー開催）」「山茶花ガイドツアー」などが行われた。

## Ⅲ 亀戸中央公園の目標と取組方針

### 1 むこう10年間を見据えた主な目標

本公園の基本理念、および社会状況の変化等の内容を踏まえ、むこう10年間を見据えた取組の中で本公園が目指す主な目標を次のように定める。

なお、本目標及び各方針の実現に向けた具体の数値目標については、事業計画等の作成時に状況に応じそれぞれ適切に設定し、マネジメントサイクルのなかで見直し等行っていく。また、【 】内には、関連するパークマネジメントマスタープランのプロジェクト名を記載した。

#### ■目標1：地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園

##### 【プロジェクト4 防災公園の機能強化プロジェクト】

地震発生時の防災機能を発揮するため、下記の防災上の位置づけをふまえ、防災訓練など災害発生を想定した取組や、非常用の発電設備等の導入による防災関連施設の更なる機能強化・充実を図る。

- ・東京都地域防災計画による指定  
避難場所（全域）  
医療機関近接ヘリコプター緊急離着陸場候補地（C地区多目的球技広場）
- ・江東区地域防災計画による指定  
避難場所（全域）

◎主な取組確認項目：防災施設整備の実績、防災訓練等の実績

#### ■目標2：東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園

##### 【プロジェクト6 水と緑の骨格軸形成プロジェクト】

東京をうるおいのある緑豊かな都市としていくため、水と緑の骨格を形成する公園の整備を進めていく。

◎主な取組確認項目：新規開園面積

#### ■目標3：独自の魅力づくりに取り組む都立公園

##### 【プロジェクト9 都立公園の魅力向上プロジェクト】

公園の魅力を向上させ、利用促進につなげるため、公園の貴重な資源の価値を積極的に掘り起こし、印象に残る風景等を創出していく。

◎主な取組確認項目：魅力発掘の取組

## ■目標4：スポーツによる健康づくりの場となる都立公園

### 【プロジェクト9 都立公園の魅力向上プロジェクト】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、スポーツ活動の機運を盛り上げ、都民の健康づくりを進めるため、運動施設や広場を活用した多様なイベント等を開催していく。

◎主な取組確認項目：スポーツによる健康づくりの取組

## 2 取組方針

本公園が目指すべき主な目標を実現するため、利用者の満足度向上を念頭に、管理や整備等にかかわる取組方針について、安全・安心や環境への取組等にも考慮したうえで次のとおり定める。

### (1) ゾーン別基本方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーン毎の基本方針を定める。

なお、ゾーン別基本方針は、原則として開園区域を対象に定めるものとし、新規開園区域があった場合は、整備内容等を踏まえ、必要に応じ追記等を行う。

#### A：多目的広場ゾーン

- ・中央広場のあるゾーン（A地区）  
日常の憩いや地域のイベントなどの利用に対応していく。
- ・多目的球技広場のあるゾーン（C地区）  
キャッチボールなどの軽スポーツなどの球技利用に対応していく。  
なお、多目的球技広場については、東京都地域防災計画で医療機関近接ヘリコプター緊急離着陸場候補地に指定されていることから、公園利用者への周知を図るとともに、災害時使用に支障がでないよう、防災訓練等を通じて現状を把握し、機能確保を図る。

#### B：遊具広場ゾーン

- ・子どもの遊び場のあるゾーン（A・C地区）  
子どもの遊び場のゾーンとして、見通しや風通し、日照等がよい安全で快適に利用できるよう対応していく。

#### E：休憩・散策ゾーン

- ・芝生広場・中央休憩広場のあるゾーン（B地区）  
広々とした空間の中での憩い・散策等の利用に対応していく。

#### G：スポーツゾーン

- ・区立体育館のあるゾーン（B地区）  
運営主体が異なることから、接続部の管理など、双方が連携して行っていく。
- ・テニスコートのあるゾーン（C地区）  
テニスコート（4面）があり、有料施設として、安全で快適に利用できるよう対応していく。

#### J：樹林ゾーン

- ・外周部の樹林のあるゾーン（A・B・C地区）  
公園の外周部については日常利用の安全性・防犯性を確保しつつ、類焼防止のための密度の濃い樹林帯としていく。また、当公園の特長であるサザンカの観賞についても対応していく。

#### L：水辺・親水ゾーン

- ・池・流れが整備された旧中川に接する水辺・親水ゾーン（B・C地区）  
人工池・流れ周辺は、水と緑あふれる潤いある空間とし、夏季は子どもたちや親子連れの利用に対応していく。また、旧中川河川敷に接していることから水辺の景観が楽しめる、散策や憩いの場として一体的な利用に対応していく。

#### **N：管理ヤードゾーン**

- ・管理所、倉庫等のあるゾーン（C地区）  
多くの利用者の訪れる管理所へのアクセス路周辺等については、安全性や清潔さに留意する。また、管理ヤードからの作業車両の出入り時には利用者に注意するなど、安全確保に努める。

#### **Q：外縁部ゾーン**

- ・民有地や公道などに接する公園外縁部  
本公園の外縁部で、幹線道路に面する所では、道路植栽等と一体的に良好な沿道景観の形成を図り、区画道路を介して住宅地等に面する所では、見通しを確保し、住宅地等に対する良好な景観の提供を図っていく。住宅地等と接する箇所では景観面のほか、落ち葉や落枝、越流水などの直接的な悪影響等を及ぼさないよう対応していく。

【ゾーンについて】

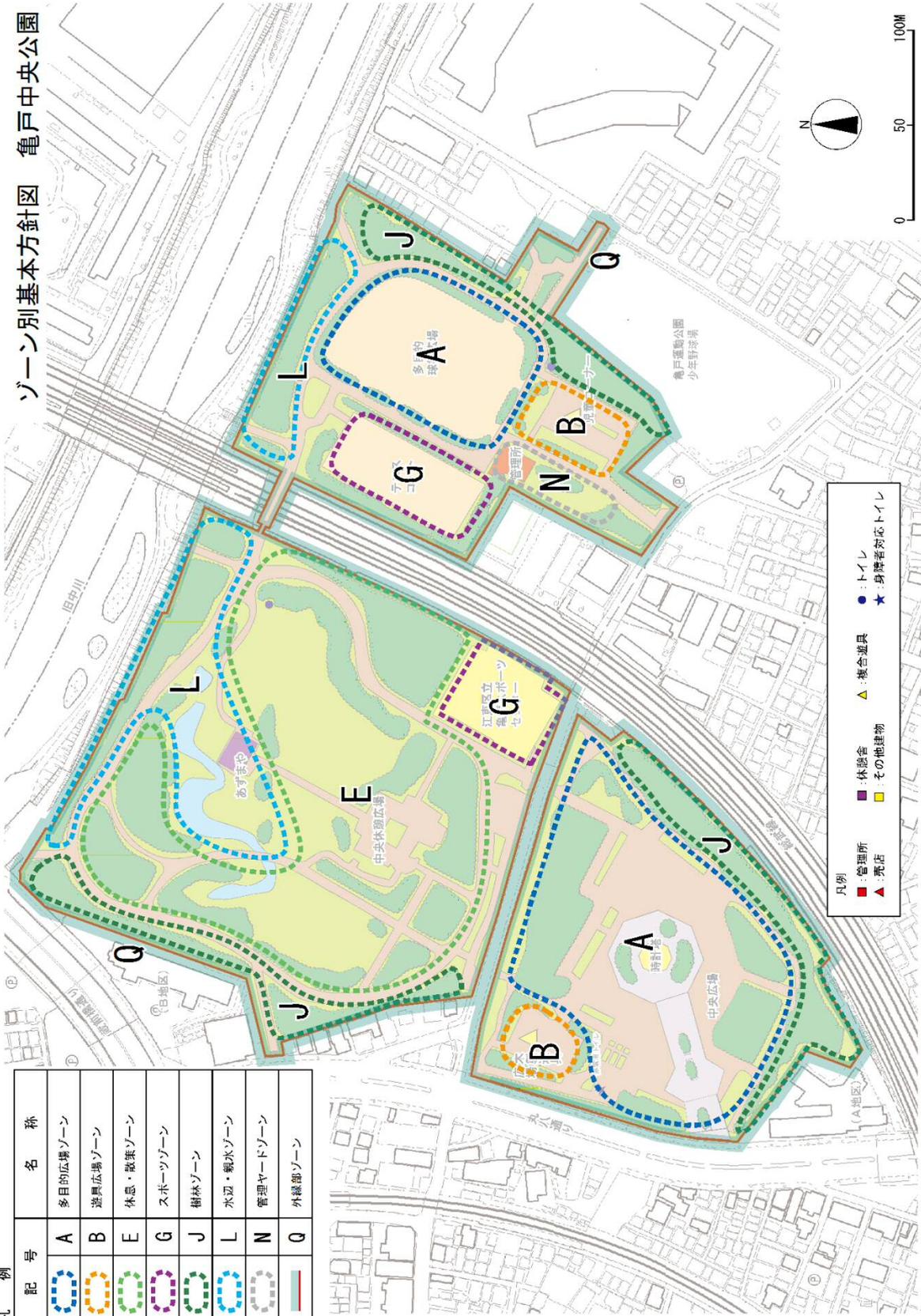
公園別のマネジメントプランでは、都立公園共通のゾーン区分を下表のように定めた。  
したがって、該当するゾーンがない場合には、そのゾーンの記載がない。

記号	区分	主な特性・機能
A	多目的広場ゾーン	多目的広場、草地広場、芝生広場、運動広場など、多目的な利用ができるゾーン。（バーベキュー広場、キャンプ広場、デイキャンプ広場などを含む。）
B	遊具広場ゾーン	児童遊具、健康遊具など、各種の遊具を中心としたゾーン。
C	イベント広場ゾーン	イベント利用に適した広場や施設などがあるゾーン。
D	入口広場ゾーン	シンボリックな入口広場として集散の場となるゾーン。
E	休息・散策ゾーン	散歩道、遊歩道、プロムナードなど、休息や散策の場となるゾーン。
F	尾根道散策ゾーン	丘陵地の尾根道など、散策の場となるゾーン。
G	スポーツゾーン	野球場、テニスコート、サッカー場、各種競技場、プール、体育館など、各種のスポーツの場となるゾーン。
H	展示・学習ゾーン	美術館、資料館、遺跡、城址など、各種の教養の場となるゾーン。
I	修景ゾーン	修景池、展望広場などの修景施設、または、草花、花壇、桜並木などの修景機能があるゾーン。
J	樹林ゾーン	外周部の樹林など、遮蔽機能等があるゾーン。
K	環境共生・保全ゾーン	多様な動植物が生息している豊かな自然環境を形成しているゾーン。
L	水辺・親水ゾーン	流れ、池、じゃぶじゃぶ池など、水に親しむことができるゾーン。
M	駐車場ゾーン	駐車場があるゾーン。
N	管理ヤードゾーン	管理ヤードとして利用するゾーン。
O	宿泊ゾーン	宿泊を目的とした施設があるゾーン。
P	植物園ゾーン	植物園（有料）として運営しているゾーン。
	(庭園関係)	「大泉水景観ゾーン」「芝生広場景観ゾーン」「富士山景観ゾーン」「山中の景観ゾーン」「田園景観ゾーン」など、各庭園に各種のゾーンがある。
Q	外縁部ゾーン	民有地や公道等に接する公園外縁部となるゾーン。

ゾーン別基本方針図 亀戸中央公園

凡 例

記号	名称
A	多目的広場ゾーン
B	遊具広場ゾーン
E	休息・散策ゾーン
G	スポーツゾーン
J	樹林ゾーン
L	水辺・観水ゾーン
N	管理ヤードゾーン
Q	外縁部ゾーン



- 凡例
- 管理所
  - 体験舎
  - ▲ 複合遊具
  - トイレ
  - ▲ 売店
  - その他建物
  - ★ 身障者対応トイレ

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2500の地形図を使用し制作したものである。(承認番号) 26都府京交第35号

## (2) 維持管理の取組方針

維持管理の取組方針については、すべての公園・緑地に共通する基本的考え方として基本事項を示し、当該公園・緑地の維持管理において、特に留意すべき事項を留意事項として提示する。

### 1) 維持管理の基本事項

都立公園は、自然環境保全、防災、景観形成、レクリエーションなど多くの機能を有しており、首都東京の風格を高め、安全で快適な都民生活に不可欠な都市施設である。こうした機能を発揮させるためには、適正な維持管理により、公園施設の機能を確保する。

そのためには、公園の中心的・特徴的要素となる植物をはじめ、その基盤となる土や水、そこに生息する動植物なども含め、総体として守り育てていく。あわせて、公園利用者に対しては、公園を清潔に保ち、快適な利用を提供するとともに、日常的な点検等通じて、樹木や施設の異常を早期に発見し、速やかに対応していくことで安全を確保し、安心して利用してもらう。また、防災トイレなどの防災関連施設は、発災時に円滑に使用できるよう、日頃から点検等を行っていく。

### 2) 本公園の維持管理における留意事項

#### ①サザンカの名所の維持管理

サザンカの名所として整備された空間を維持・向上させるため、特に留意して整枝剪定、病虫害防除等の植物管理を行う。

### (3) 運営管理の取組方針

運営管理の取組方針については、すべての公園・緑地に共通する基本的考え方として基本事項を示し、当該公園・緑地の運営管理において、特に留意すべき事項を留意事項として提示する。

#### 1) 運営管理の基本事項

##### ① 基本的な事項

都民のライフスタイルの多様化や高度化、少子高齢化の進展などにより、新たな時代のニーズに応じた公園の管理運営が求められている。公園やその周辺地域の特性を踏まえ、地域団体などと連携し、環境の変化や新たなニーズに応えるための運営管理を行う。

##### ② 公園の適正な管理

都市公園法や東京都立公園条例等に基づき、公の施設として公平・公正な取扱いをするとともに、公園利用者が安全かつ快適に公園を利用できるよう、適正な管理を行う。

##### ③ 利用促進

公園利用者から寄せられる様々な要望や苦情等を通じてニーズを的確に把握し、幅広い利用者層や利用目的に応じた質の高いサービスを継続的に提供するとともに、公園の魅力を発信し、公園利用の促進を図る。

#### 2) 本公園の運営管理における留意事項

##### ① 地域との協働による公園づくり

花壇づくりにあたり、地域のボランティアグループとの連携を図るなど、都民との協働管理の体制づくりを検討していくほか、サザンカの名所やサクラの名所などを活用した都民協働の取組などを進めていく。

##### ② スポーツ等による健康づくり

テニスコートや多目的球技場、B地区広場などの運動施設や広場を活用した、緑の中で子供から高齢者まで誰もが気軽に参加できる多様なイベントの開催などにより、都民の健康づくりの場を提供するとともに、東京でのオリンピック・パラリンピック開催に向けたスポーツの機運を盛り上げていく。

## (4) 安全・安心な公園への取組について

地震・台風・大雨などによる被害や感染症等の発生、落枝・倒木や公園施設の老朽化に起因する事故の発生に際し、公園の利用者や周辺住民が安心して公園を利用できるよう、次の通り対応していく。

### 1) 地震災害

- ・東京都地域防災計画など、既定計画における役割の確認
- ・巡回点検・応急対応等のマニュアルの理解と実践
- ・発災時を想定した参集訓練や通信訓練等の実施

### 2) 気象災害（台風、大雨、積雪等）

- ・巡回点検・応急対応等のマニュアルの理解と実践
- ・情報連絡体制の構築
- ・被害軽減のための事前処置の準備

### 3) 蚊媒介感染症など

- ・関係部署と連携しつつ迅速・適切に対応

### 4) 落枝・倒木

- ・日常的巡回時の異常把握と応急処置
- ・倒木等の恐れのある樹木の定期点検
- ・計画的な樹木手入れ等の実施

### 5) 施設の損壊等

- ・日常的巡回時の異常把握と応急処置
- ・公園利用者とのコミュニケーションによる不具合の把握
- ・計画的な補修や取り換え等の実施

### 6) 遊具

- ・事故を未然に防ぐための日常的な点検の徹底による早期発見
- ・専門業者による精密点検の定期的な実施
- ・事故事例の把握と緊急点検の実施

## (5) 改修・再整備の取組について

公園の改修・再整備については、本園の性格・役割や目標に照らし、長期的な視点に立つことを基本とし、改修・再整備の対象となる施設の現況特性等に応じ、個別に方針を定めて行うものとする。

### ①災害時対応のための整備

災害時対応のための機能強化・充実に向け、非常用の発電設備等の防災関連施設の計画的な整備を行う。

## (6) 新規整備の取組方針

本公園の計画区域のうち、未供用区域の事業化については、原則、「都市計画公園・緑地の整備方針（改定）」（平成 23 年 12 月、東京都・特別区・市町）に設定した「優先整備区域（新規事業化区域）」について行うものとし、平成 32 年までに事業化を図っていく。

なお、事業化の対象区域は、概ね次のとおりであるが、今後の改定により見直されることもある。また、整備にあたっては、本公園の役割等を踏まえ、基本計画等に基づいて行っていく。

1) 優先整備区域「事業促進区域」：該当なし

2) 優先整備区域「新規事業化区域」：3,600 m<sup>2</sup>

江東区亀戸九丁目

注) : 「事業促進区域」：既に事業認可を取得済の区域（用地未取得地含む）

「新規事業化区域」：新たに事業認可を取得する区域（既に認可取得済の区域あり）

# IV 図面・写真

現況平面図 亀戸中央公園



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都編制R1/2500の地形図を使用して作製したものである。(承認番号) 26都基交第350号

周辺土地利用図（空中写真）

亀戸中央公園

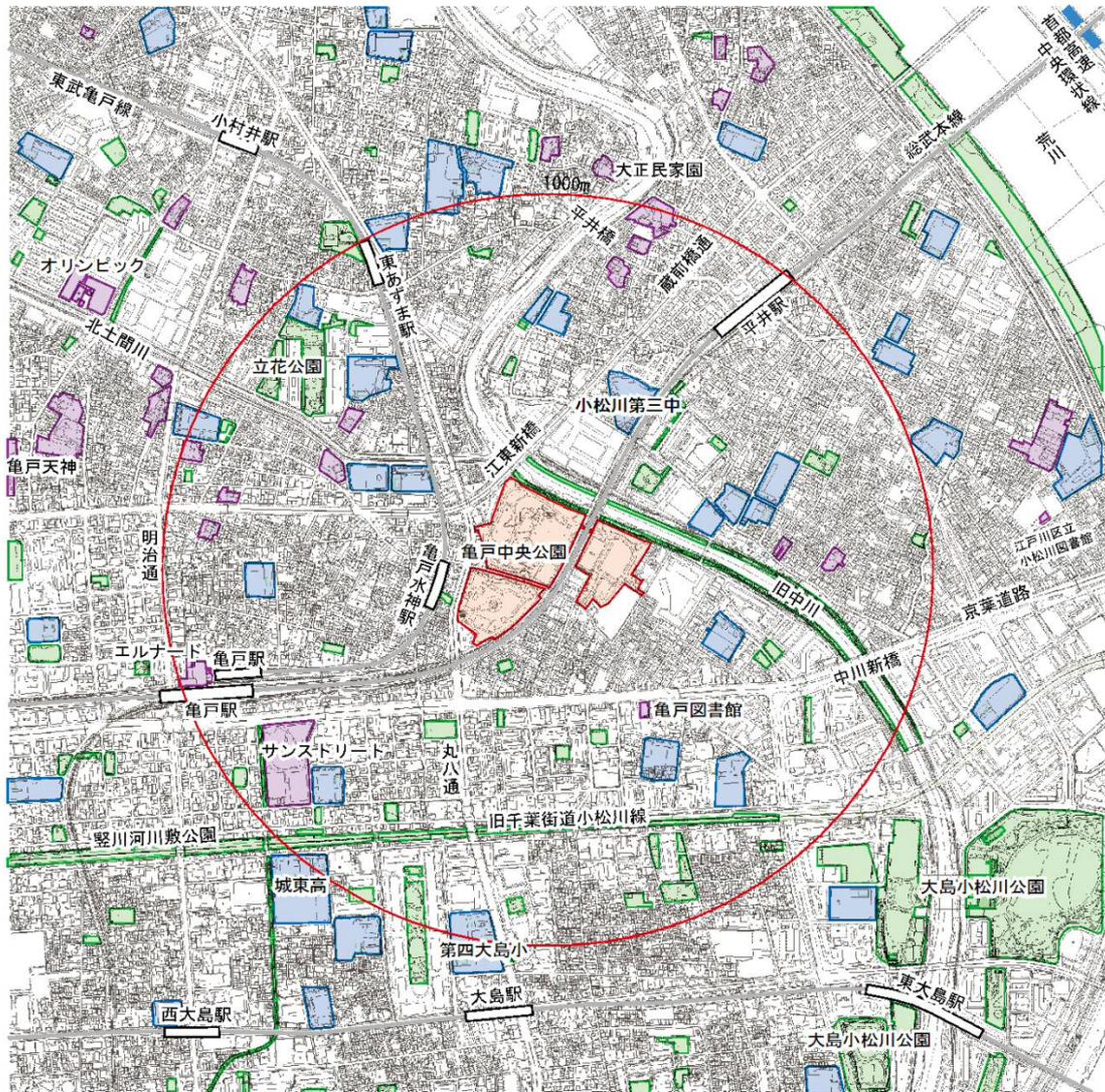


- : 開園区域
- : 都市計画決定区域

平成26年3月撮影

周辺土地利用図（地図）

亀戸中央公園



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2500の地形図を使用して作製したものである。（承認番号）26都市基交第350号

- : 公園緑地
- : 学校
- : 特徴的な建物（神社仏閣など）
- : 開園区域
- : 高速道路
- : 鉄道



亀戸中央公園の現況写真 【平成 26 年 12 月撮影】

① A 地区・中央広場



⑤ C 地区・サザンコーナー



② A 地区・時計塔



⑥ C 地区・多目的広場



③ B 地区・芝生広場



⑦ C 地区・テニスコート



④ B 地区・梅林



⑧ C 地区・児童コーナー



## <資料編>

## 資料1 パークマネジメントマスタープランと公園別マネジメントプランについて

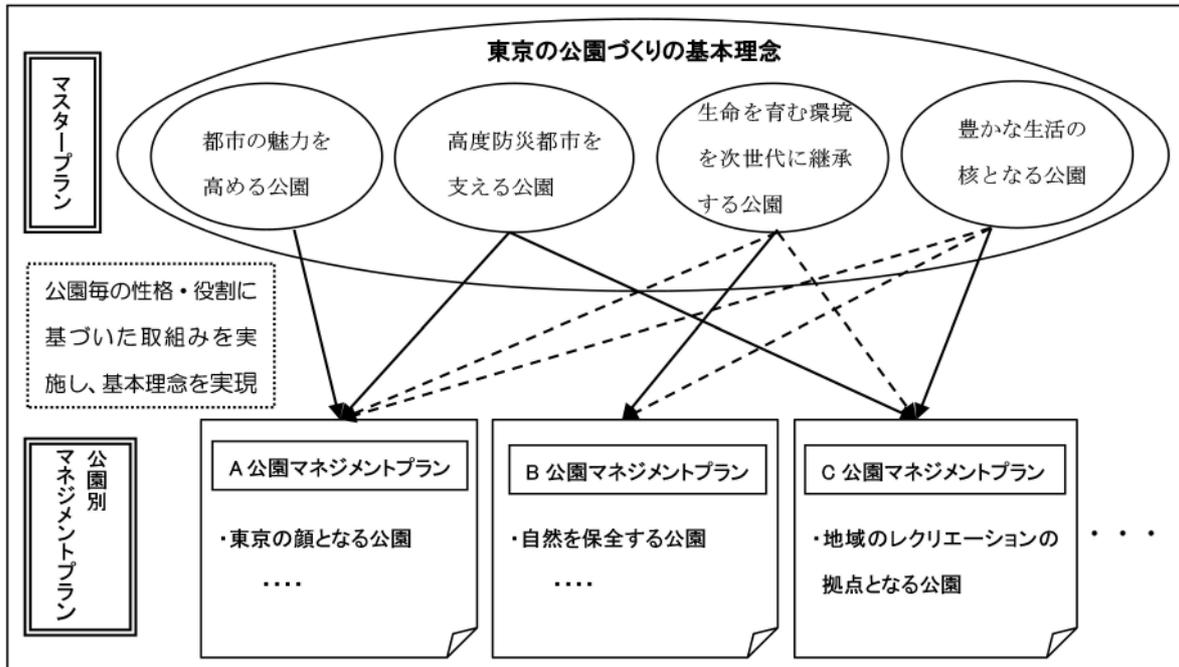
- ・パークマネジメントマスタープランは、「従来の行政主導の事業手法から、都民・NPO・企業と連携しながら都民の視点に立って公園を整備・管理する『パークマネジメント』へ転換すべき」との東京都公園審議会答申を踏まえ、平成16年8月に策定された。
- ・当初マスタープラン策定後10年の社会状況の変化、当初マスタープランの実施状況、東京都長期ビジョンの策定を踏まえ、平成27年3月改定版では、目標に対するプロジェクトを下表のように掲げている。
- ・当該目標に対するプロジェクトについて、亀戸中央公園が担うことになるプログラムには◎を、亀戸中央公園が関係するプログラムには○を付した。

基本理念	プロジェクト	プログラム		
基本理念1 都市の魅力 を高める公園	プロジェクト1 国際的な観光拠点となる公園づくりプロジェクト	(1)東京の歴史と文化を伝える公園の再整備	東京の歴史と文化を伝える公園の再整備	
		(2)オリンピック・パラリンピック開催に向けた公園の整備	オリンピック・パラリンピック競技会場等が配置される公園の整備 オリンピック・パラリンピックのレガシーとなる公園の整備	
		(3)誰もが利用しやすい公園づくり	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進 多言語表記、無料Wi-Fi利用環境等の充実	
		(4)快適な「おもてなし」空間の形成	快適な「おもてなし」空間の形成	
	プロジェクト2 庭園・植物園・動物園での「おもてなし」プロジェクト	(1)庭園・植物園・動物園での「おもてなし」	文化財庭園での伝統文化による「おもてなし」	
			東京の日本庭園の連携による魅力の発信 植物園・動物園での「おもてなし」	
			国内外からのお客様への案内機能の強化	
		(2)文化財庭園の保全・再生	文化財庭園の施設の復元・修復 風格ある庭園景観の保全	
	(3)植物園・動物園の再生	植物園・動物園の再生		
	(4)動植物の交換や技術支援を通じた都市外交	動植物の交換や技術支援を通じた都市外交		
	プロジェクト3 公園の多機能利用と民間の活力導入促進プロジェクト	(1)公園の多機能利用、民間ノウハウ等を活かした施設づくり	公園の多機能利用と官民連携によるにぎわいの創出	
			民間のノウハウ等を活かした魅力ある施設づくり 広告掲示を認めることによる民間資金の導入	
		(2)規制緩和公園における民間イベントの積極的な誘致	規制緩和公園における民間イベントの積極的な誘致	
(3)指定管理者制度の運用改善によるサービスの向上	指定管理者制度の運用改善によるサービスの向上	○		
基本理念2 高度防災都市を支える公園	プロジェクト4 防災公園の機能強化プロジェクト	(1)防災公園の整備	救出・救助活動の拠点や避難場所となる公園の防災関連施設の充実 非常用発電設備の導入	◎ ◎
		(2)災害時における公園の有効活用と防災訓練の充実	災害時における公園の有効活用と防災訓練の充実	◎
		(3)公園内の建築物、街路樹の災害対策	公園等の建築物の耐震化 街路樹防災機能の強化	
	プロジェクト5 都立公園の安全・快適プロジェクト	(1)公園樹木の戦略的メンテナンスによる安全性・快適性の向上	公園樹木の戦略的メンテナンスによる安全性・快適性の向上	○
		(2)ホームレスの自立支援と公園機能の回復	ホームレスの自立支援と公園機能の回復	○
(3)安全・安心な公園とするための取組み	気象災害や感染症等に備えた危機管理の強化 公園施設の適切な点検と維持・更新 環境負荷の少ない公園づくり	○ ○ ○		

基本理念	プロジェクト		プログラム	
基本理念3 生命を育む環境を次世代に継承する公園	プロジェクト6 水と緑の骨格軸形成プロジェクト	(1)水と緑の骨格軸の拠点となる公園、街路樹の形成	都立公園による緑の拠点の形成	◎
			既存公園の再生整備	
		緑の拠点をつなぐ街路樹の充実		
		(2)多様な主体と連携した緑のネットワークの形成	道路・河川との連携による公園整備の推進	
			都心部等における緑のネットワーク形成の推進	
	プロジェクト7 都立公園の生物多様性向上プロジェクト	(1)生物生息・生育空間の整備と管理	生物生息・生育空間の保全・再生・創出	
			公園内の動植物の保全・育成活動の充実	
		(2)動植物園・水族園での野生動植物の保護増殖、普及啓発	植物多様性センターにおける保護増殖	
			ズーストック計画の推進	
	プロジェクト8 自然とのふれあいプロジェクト	(1)自然体験活動、環境教育の拠点としての公園等の活用	自然観察会、環境教育プログラム等の充実	○
多摩の森林の大切さを公園でアピール			○	
(2)自然とのふれあいの場としての丘陵地の公園緑地づくり		里山の環境を守る丘陵地公園の整備		
		自然の保全・回復に向けた雑木林の更新		
基本理念4 豊かな生活の核となる公園	プロジェクト9 都立公園の魅力向上プロジェクト	(1)都民ニーズの把握と施策への反映	都民ニーズの把握と施策への反映	○
			へブンアーティスト、野外劇などへの場の提供	
		(2)公園の魅力発掘事業の展開	ライトアップ、大規模花壇による魅力の創出	◎
			公園利用のアイデア募集	○
	プロジェクト10 パートナーシップ推進プロジェクト	(3)子どもの育成、スポーツによる健康づくりの場としての公園利用	子どもの心身の育成と多世代交流の場づくり	
			公園でのスポーツによる健康づくり	◎
		(1)公園情報の受発信と管理所機能の強化	公園情報の受発信と管理所機能の強化	○
			公園・動物園サポーター制度の実施	○
(2)都民からの寄付の受入れ	都民や企業からの寄付による公園施設等の設置	○		
	(3)都民・NPO・企業等との連携による公園づくりの推進	ボランティア活動と都民協働のさらなる推進	○	
		鉄道会社、旅行会社、地域の文化施設等との連携の推進	○	
		広域連携による丘陵地等の総合的な保全・利活用		
(4)都立公園を支える人材の育成	都立公園を支える人材の育成	○		

- ・また、パークマネジメントマスタープランと本プランとの関係は下図のとおりである。

マスタープランと公園別マネジメントプランの関係



## 資料2 亀戸中央公園に関する資料

### (1) 公園の沿革

昭和48年3月 1973年	東京都告示243号亀戸中央公園として都市計画決定（当初）
昭和48～50年 1973～1975年	日立製作所亀戸工場の移転跡地を財務局で用地買収（102,122.52㎡）
昭和50年5月 1975年	買収した土地を一括して建設局が引継ぎを受けた。
昭和51年 1976年	原地盤（AP約-1.5m）を浸水に耐えられるよう約2m盛土。
昭和53～54年 1978～1979年	A地区について、排水、擁壁及び広場舗装、便所、休憩舎、ベンチ、遊具、公園灯の整備を実施
昭和55年6月 1980年	開園。26,825.09㎡（A地区）
昭和61年 1986年	追加開園 49,005.18㎡（B地区）
昭和62年 1987年	追加開園 26,496.05㎡（C地区）
昭和62年6月 1987年	テニスコートの使用開始
昭和63年12月 1988年	江東区に体育館（亀戸スポーツセンター）を設置許可。
平成3年6月 1991年	追加開園 294.04㎡（A地区）
平成23年6月 2011年	追加開園 178.64㎡（A地区）

### (2) 公園の自然・社会環境

#### 1) 自然環境

- ・江東ゼロメートル地帯に位置し、区域の北部は旧中川に接している。この川の公園に接する一帯では親水型の護岸整備が施されており、公園との一体感がある。
- ・一帯の土地はAP マイナス 1.5m内外で、公園区域は約 2mの盛土がされており、全体に平坦地である。
- ・地域の防災拠点として公園の外周部をはじめ、常緑樹を中心とした防火植栽が施されている。
- ・公園周辺部は古くからの工業地帯であるなかで、当公園と旧中川が自然的な潤いを感じさせている。
- ・主な植栽樹種は、サンゴジュ、モクセイ、イスノキ、サザンカ、クロマツ、サツキ、ソメイヨシノ、ウメ、アンズ等である。

#### 2) 社会的環境

- ・当公園は江東区の北東端に位置し、旧中川対岸は江戸川区、公園北西側は100mほどで墨田区に接する。
- ・当公園周辺地域一帯は工業系土地利用が多く、都市計画用途地域では当公園の隣

接地は大半が準工業地域となっている。近年、公害等の社会問題から一部の工場等は地方へ移転し、その跡地に多くの集合住宅や公共施設が建ったが、まだ都市型軽工業として区の中心的な産業を構成しているところである。

- ・周辺部の住区レベルの公園緑地の配置状況から、当公園は貴重な存在となっている。(西方向 1.5 km に区立錦糸公園、東南 1.5 km に都立大島小松川公園がある)。
- ・準防火地域に指定されているものの、区の中では木造住宅及びこれに準ずる建物が密集している地区で、防災上の危険度が高い地域である。
- ・周辺には亀戸銭座跡、亀の島跡、亀戸天神社、亀戸水神社などの多くの文化財が残されている。
- ・敷地内東を通る JR 総武線により公園区域が東西に分断され、さらに敷地南よりを都市計画道路が貫通し、公園全体が 3 つの区域 (A・B・C 地区) に分断されている。
- ・公園の西 100m の位置に東武亀戸線・亀戸水神駅があり、徒歩、自転車以外の来園者はほとんどこの電車を利用して来園している。
- ・公園区域内の一角 (B 地区) に江東区営の亀戸スポーツセンター (屋内体育館) が設置されている。
- ・公園の東側に隣接して江東区営の少年野球場が設置されている。

### (3) 園内のトピックス

#### ①中央広場

時計塔の下ではほぼ毎日ラジオ体操が行われている。

#### ②修景池

公園としての景観のポイントである人工池は夏季のみに湛水し、子供の水遊び場としての利用を中心とするものとなっている。

#### ③芝生広場 (B 地区)

幼稚園、保育園の園外保育に日常的に利用されているほか、土日祝日はピクニック利用や遊び場に利用されている。

#### ④サザンカ

江戸時代からの地域のイメージを残すものとして、サザンカの名所づくりが行われた。冬季から春先にかけてはサザンカ見学の来訪者が多く訪れる。

#### ⑤多目的球技広場

少年野球場として 2 面整備されていて、ほとんどが地域の少年野球の利用であるが、野球以外にもサッカーの利用や、学生サークルによるラクロスの利用もある。

#### ⑥テニスコート

学生利用が多いが、休日は一般の利用も多く、予約がいっぱいとなることも多い。

#### (4) 利用状況等データ

##### 1) 有料施設の利用状況

###### ・運動施設

年間使用率 (%)

施設名			25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
テニス (人工芝)	昼間	平	57.2	59.1	55.9	54.6	66.4
		休	98.2	99.4	92.9	97.9	98.6
	夜間	平	72.4	72.8	68.5	71.6	71.2
		休	94.3	95.4	85.8	95.4	93.3

注) 平：平日、休：土日祝日

##### 2) 公園占用の状況

(件)

項目	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
写真撮影	15	14	21	21	5
映画等の撮影	8	8	7	5	11
その他	20	21	30	18	9

##### 3) 主な催し物 (平成 25 年度実施分)

###### ・指定管理者による催し

種別	No.	事業名	実施期間	参加人数 (人)
イベント	1	七夕飾り	7月	200
	2	どんぐりイベント	10月	107
	3	梅の剪定枝配布	1月	300
	4	皇帝ダリア苗配布	6月	50
自主事業	1	みんなで鯉のぼりをつくろう	4月	70
	2	草笛教室	6月	150
	3	山茶花ガイドツアー	12月	45

###### ・指定管理者以外による催し

種別	No.	事業名	実施期間	参加人数 (人)
その他	1	江東区民まつり 亀戸地区夏まつり	8月	—

##### 4) 主な活動団体 (平成 25 年度調査)

団体名	活動内容	人数(人)
三地区亀戸学童少年野球連盟	多目的広場とその周辺の整備	160